

徳島市立教育・保育施設の再編について

1 基本的な考え方

令和2年度から令和6年度を計画期間として定め取り組んでいる「新たな市立教育・保育施設再編計画」の趣旨、方向性を継承し、地域のセーフティネットとしての役割を果たすため、既存施設の老朽化対応や、近い将来、発生が想定される大規模災害時の防災力強化とともに、すべての中学校区において乳幼児が預けられる環境を整備し、市立の教育・保育施設を、中学校区に概ね1か所の認定こども園へ集約する。

(1) 保育所

令和6年度までの「新たな市立教育・保育施設再編計画」において定めた、中学校区内での市立保育所の再編を積極的に進め、引き続き集約化を図る。

なお、認定こども園化する際には、特別な配慮を必要とする子どもの保育など、地域のセーフティネットとしての役割を踏まえつつ、一定の規模を超過する場合は、民間移管など民間活力を活用する。

(2) 幼稚園

令和6年度までの「新たな市立教育・保育施設再編計画」において、中学校区における集団的教育環境確保のための統合・集約を完了した。

今後は、幼稚園利用児童数が減少していることから、小規模園の認定こども園化を優先に進める。

【優先的に再編する施設等】

中学校区	市立施設の抱える課題等	再編に向けた考え方
加茂名中学校区	<ul style="list-style-type: none"> 施設の老朽化 	<ul style="list-style-type: none"> 市立認定こども園1施設、私立認定こども園1施設に再編
上八万中学校区	<ul style="list-style-type: none"> 適正規模での集団教育・保育の実践(上八万幼稚園) 施設の老朽化 0・1歳児の受入れ拡大(明善保育所) 	<ul style="list-style-type: none"> 市立認定こども園1施設

中学校区	市立施設の抱える課題等	再編に向けた考え方
応神中学校区	<ul style="list-style-type: none"> 適正規模での集団教育・保育の実践(応神幼稚園) 施設の老朽化 	<ul style="list-style-type: none"> 市立認定こども園1施設
川内中学校区	<ul style="list-style-type: none"> 施設の老朽化 0・1歳児の受入れ拡大(川内保育所) 	<ul style="list-style-type: none"> 市立認定こども園1施設

※再編に向けた考え方については、今後、民間の参入意向や地域の意向を確認する中で変更する場合もある。

2 計画期間

当再編計画の上位計画である「徳島市子ども・子育て支援事業計画」が5年を1期としていることから、現行の財政状況や職員体制を考慮し、さらに5年程度延長した今後10年を目途に整備を進める。その中で次期再編については、資材や建設人材の不足による工期が延伸していること、また第4期子ども・子育て支援事業計画の策定、更新時期と重なることを避けるため、計画期間を6年間とする。

3 確保量

再編校区における公民合わせた保育施設の現状を踏まえつつ、入所保留者数を加えた供給量の確保に取り組む。

その際には、民間移管や定員枠移管などによる民間施設の整備も並行して行いながら、適切な公立施設の量の確保に努める。

4 今後のスケジュール（予定）

令和6年 9月下旬～ 民間事業者及び再編対象地域の各種団体へ再編方針を説明
12月議会 規模やスケジュールを含めた再編計画（案）を報告